

栃木県立馬頭高等学校（普通科・水産科）

馬頭高校には、普通科と水産科があります。単位制の導入により、自分の進路に合った多様な選択科目の受講が可能となりました。この中の普通科選択科目に「農業と環境」が設定され、将来、農業に従事するまでの基礎的な学習もできるようになりました。

進路先として、近年、林業、森林組合や農業関連産業などへの就業が増えてきており、「総合的な探求の時間」も含め、幅広いニーズに対応できる学習活動を行っています。

普通科選択科目「農業と環境」

学校の農場での栽培活動等、実習を通して、農業技術の基礎と環境の保全について体験的な学習を行います。

具体的には、露地野菜の栽培を中心に行いますが、コールラビやカーポロネロ、ルッコラ、ビーツなどの西洋野菜や、タマネギのセット栽培（真冬に新タマネギの収穫をする栽培）なども含め、環境に優しい農業にも取り組んでいます。



令和2年度に栽培予定の露地野菜

大球キャベツ・白菜・大根・カブ・タマネギ・レタス・里芋・ジャガイモ・ブロッコリー・ルタバガ・スイスチャード・バジル・コールラビ・カーポロネロ・ルッコラ・ビーツ

水産科の主な活動～水に親しみ、水から学ぶ～

水産科は、全国唯一の内陸県に設置された水産に関する学科です。大きな特徴は、水産物の増養殖、水産食品加工、環境学習など多岐に渡って学習できることです。

進学先として、4年制大学や専攻科、海上技術短期大学校などが挙げられます。就職先は、県内外の養殖場や水産加工会社を中心に、各種生産業・製造業など多岐に及びます。

課題研究

水産に関する学習内容の中から、興味のある分野の研究を主体的に行う課題解決型授業です。



リバースタディ

学校設定科目「リバースタディ」は、河川における自然体験活動を中心とした自由選択科目です。「農業と環境」の取得と合わせると、普通科生徒でありながら農業・水産に関して学習することができます。

